

第 28 回日本バイ・デジタル O-リングテスト医学会

医学会学術大会テーマ

O-リングテストを次の世代に伝えるために

平成 31 年（2019 年）4 月 20 日（土曜日）・21 日（日）日曜日

於：ANA クラウンプラザホテル神戸

<開催要項・参加申込書・演題募集要項>

主催：第 28 回 日本バイ・デジタル O-リングテスト医学会運営委員会

第 28 回日本バイ・デジタル O-リングテスト医学会 開催の趣意書

第 28 回日本バイ・デジタル O-リングテスト医学会、大会長としてご挨拶させていただきます。

バイ・デジタル O-リングテスト（以下 BDORT）は創始者の大村恵昭教授、並びに日本 BDORT 協会会長・下津浦康裕先生、その他多くの関係者による多大なるご尽力により、我が国、米国、ヨーロッパなど、世界的にもその有用性が注目されています。とくに高齢社会に突入している先進諸国では、医療の専門化、細分化が進み、体全体を診る事ができない弊害が問題視されています。また各種慢性疾患、アレルギー、悪性腫瘍など増加傾向にあり、現代西洋医学での対応に限界があるとさえ思える状況です。このように行き詰まった医療界において、BDORT は大きく貢献できるものと思われま

しかしながら、BDORT の普及は、十分とはいえず、本学会の会員数も頭打ちと聞いております。私は臨床経験上「BDORT は次の世代に継承すべき人類の宝である」と認識しております。本来ならば大村恵昭教授にノーベル賞でも受賞していただければいいのですが（かなり有力な立場にまでなっていたと聞いています）、時間的制約もあり、我々学会員が全世界に認知させる努力を惜しまないことが重要と考えます。そこで今回の医学会のテーマを「O-リングテストを次の世代に伝えるために」としました。少しでも多くの医療従事者に参加の門戸を開くべく、医療国家資格者全ての学会参加を可能としました（ただし発表者は本学会員並びに学会が許可したもののみ）。また、BDORT を高く評価してくれている各界の有名人によるシンポジウムも企画しました。

大村恵昭教授による創始者講演、下津浦康裕協会会長による協会会長講演、迫田綾子・日本赤十字広島看護大学客員教授、鎌田東二・京大名誉教授による特別講演、大会会長講演、更には一般講演と盛りたくさんの内容となっております。

BDORT が世界中の難治性疾患に悩む人達に光明を与えるため、その普及のため不断の努力をして行こうではありませんか。

平成 30 年 12 月吉日

第 28 回日本バイ・デジタル O-リングテスト医学会大会会長
藤井佳朗（国際鍼電気治療大学准教授、新神戸歯科院長）



International Association of Bi-Digital O-Ring Test Medical Societies : President
ご挨拶

2019年4月20日(土)～2019年4月21日(日)に第28回日本バイ・デジタルOリングテスト医学会をANAクラウンプラザホテル神戸で開催いたします。

バイ・デジタルOリングテスト(Bi-Digital O-Ring Test)は、1970年代にその現象が発見され、まだBi-Digital O-Ring Test (BDORT)という名前を付ける前の論文は1978年、名前が付いた論文は1981年に発表されました。当時、コロンビア大学の実験物理の大学院で、2つの同量の同一物質間の電磁波共鳴でOリングが最大限に弱くなるということを見出し、この応用として、体内のいろいろな正常及び異常Non-InvasiveにOリングテストで、血液その他のサンプルを採らずに、測定できることがわかりました。この方法に対して、1993年にアメリカで世界最初の人体を使った特許を取得しました。物理学の電磁波共鳴現象と脳循環と握力の研究から、BDORTの研究が始まり、BDORTのメカニズムに対する基礎研究、医科・歯科・鍼灸・薬学・獣医学等における診断及び治療に関する学術発表を毎年、地道に続けてきました。BDORTはNon-Invasiveで迅速に診断し、安全で有効な治療、原因不明の難病の原因や治療法の探索や、BDORTで疑われる疾患を現代医学検査により、ピンポイントで検査することにより、医療費削減にも貢献できる医療診断法・治療法として期待されている手法です。近年、顔面・口唇・手・足等の臓器代表領域のマップも更に詳しくなり、診断や治療に応用されており、胸腺機能についても詳しい研究をしており、ホープレスな患者さん達の治療にも活用されています。

2019年4月にANAクラウンプラザホテル神戸で開催される第28回BDORT医学会は、大会テーマが「Oリングテストを次の世代に伝えるために」で、BDORTの、癌・心臓病・認知症等の様々な疾患に対して次世代に残していく診断方法や治療成績について更に活発に論じながら、皆様の日常診療における成果を多く発表していただければ幸いです。是非多くの方がアブストラクトを提出して参加され活発な学会になることを期待しています。

International Association of Bi-Digital O-Ring Test Medical Societies : President
BDORT 創始者
大村恵昭, M.D., Sc.D., F.A.C.A., F.I.C.A.E., F.R.S.M.

開催要項

1 大会名 第28回日本 Bi-Digital O-Ring Test 医学会

2 大会テーマ「O-リングテストを次の世代に伝えるために」

3 大会HP <http://www.bdort.net/>

(適宜情報・連絡などをアップして行きますのでご覧下さい)

4 大会組織

大会長 藤井佳朗 (新神戸歯科院長 国際鍼電気治療大学准教授)

大会名誉会長 大村 恵昭 (BDORT 創始者 国際鍼電気治療大学学長)

実行委員長 奥田恵美 (恵美歯科医院)

委員 出口一樹 (朝日大学保険医療学部教授)

水野敏成 (名旭製薬株式会社)

川嶋洋士 (川嶋鍼灸整骨院)

金井聖徳 (金井接骨院)

5 大会会期 平成31年(2018年)4月20日(土)・21日(日)

6 開催会場 ANAクラウンプラザホテル神戸
(〒650-0002 兵庫県神戸市中央区北野町1丁目)

7 大会日程(予定)

4月20日(土) 13時00分

* 認定医会を12:00~13:00から行います。認定医の先生方はご参加下さい。

(午後) 創始者講演 大村 恵昭
特別講演 迫田綾子・日本赤十字広島看護大学客員教授
「誤嚥を防ぐポジショニングと口腔ケア」
一般演題
(夜) 懇親会

4月21日(日) 9時~

シンポジウム「O-リングテストを次の世代に伝えるために」
創始者講演 大村 恵昭
特別講演 鎌田東二・京都大学名誉教授
「言霊の思想と身心変容技法~見えない世界を探る智慧」
一般演題
会員総会

8 参加資格

原則として日本 Bi-Digital O-Ring Test 医学会会員です。

(医師・歯科医師・鍼灸師・獣医師・薬剤師・看護師、医学部および鍼灸大学・専門学校学生)

*入会についてのお問い合わせは以下にお願いいたします。

日本 Bi-Digital O-Ring Test 医学会

〒830-0032 福岡県久留米市東町 496

FAX:0942-37-4131 e-mail: info@bdort.net

9 大会参加費

協会会員 30,000 円、大学関係者 20,000 円、学生 10,000 円、一般学生 3,000 円

(プログラム・抄録集含む、一般学生は除く)

懇親会費 8,000 円

10 参加登録申込み

参加ご希望の場合は、入金確認の都合上、3月31日(土)までにメール又は FAX にてお申し込み下さい (メールの場合は同封の FAX 用紙の内容をご記入下さい)。

第 28 回日本 BDORT 医学会大会事務局

E-mail: info@bdort.net

FAX : 0942-37-4131

11 参加費支払い方法

参加費は4月10日(水)までに下記へお振込み下さい。当日は会場の混雑が予想されますので、必ず事前にお振込みをお願い致します。

振込銀行名：みなと銀行 本店営業部 普通 1961967

口座名：

第 28 回日本バイ・デジタル O-リングテスト医学会 大会長 藤井 佳朗

ご注意：原則として参加費は返金されませんのでご了承下さい。

12 その他

・大会事務局では、宿泊の斡旋を行いませんので、周辺のホテル等に各自でお申し込み下さい。

・日曜日の昼食は参加費の中に含まれております。

・会場内でのご飲食はかたくお断り申し上げます。

13 本大会に関するお問い合わせ

第 28 回日本 Bi-Digital O-Ring Test 医学会大会事務局

〒830-0032 福岡県久留米市東町 496

日本バイ・デジタル O-リングテスト協会事務局内

TEL: 0942-38-4181 FAX : 0942-37-4131

e-mail: info@bdort.net

以上